

共同研究事例Ⅱ

研究者
株式会社サンオース研究期間
令和4(2022)年度～
令和6(2024)年度

●背景・課題

市内の交通部門における脱炭素を推し進めるため、次世代自動車等の導入促進や各インフラにおける拠点整備等が急務となっています。

●研究内容

この研究では、再生可能エネルギーを由来とする電力を活用したEVカーシェア拠点を市内各地に設置し、「CO₂排出量の少ない交通手段の提供」と「次世代自動車の導入・活用」を推し進めます。

●得られる効果、成果、展望

交通部門の脱炭素化と、削減されたCO₂の見える化を図ることで、市民への行動変容を促します。

実証フィールド

市内で設置可能なエリア

再エネ×IoTを利用したグリーンモビリティによるCO₂削減に関する研究

研究概要図

- ① マルチモビリティステーション
(ソーラーカーポート
×EVカーシェア
×サイクルシェア)
の更なる設置に向けた各種検討



マルチモビリティ

- ② マルチモビリティステーションからのデータ収集・蓄積・分析

CO₂の可視化イメージ

- ③ シェアモビリティ利用による環境意識向上と行動変容の促進



用語解説

太陽光発電を備えた電動モビリティ充電ガレージ「E-Cube」とは

ソーラーパネルと蓄電池を備えたEVカーシェアの設備です。小型EVや電動自転車を設置されており、これらはソーラーパネルから発電された電気を利用するため、再生可能エネルギーを利用した走行が可能です。ソーラーパネルから発電された電力と走行により消費された電力は、常にモニタリングされており、データを蓄積しています。

2022年度実績

「CO₂削減量の見える化」を実現するためのプラットフォーム構築

初年度は、「CO₂削減量の見える化」を実現するための各データ収集に係るプラットフォームを構築しました。また、E-Cubeを環境総合研究所が所在するLiSEの駐車場に設置し、サービスを開始しました。運用開始時には、小型EVの試乗会を開催し、EVカーシェアに関する情報発信を行いました。

試乗会の様子



2023年度実績

EVカーポートの増設、利用者促進

昨年度LiSEの駐車場に設置したE-Cubeをはじめとする、EVカーシェアを促進するため、溝の口地域など市内でのEVカーポートの増設を進めました。これにより、EV台数、ステーションを増やし、市民の行動変容を促し利用者を増やすことでCO₂削減に貢献することを目指します。

設置したE-Cube



2024年度実績

シェアモビリティ利用による環境意識向上と、行動変容の促進

EVカーシェアを促進するため、引き続き、市内でのEVカーポートの増設の検討を進めました。また、発電量・蓄電量のデータ収集を行い、データの蓄積と分析を通して脱炭素効果を確認し、CO₂の見える化を行いました。

浅田ステーション

